

**STOP
THE
格差社会**

2010トータルライフアップ全県集会

1月23日(土)群馬県民会館ベイシア文化ホールで開催し、産別・地協を含めて309名が参加しました。大橋会長からの挨拶の後、Jユニオン(株)西尾氏による「経営チェック機能と労働組合の役割」と題した講演を行いました。続いて連合本部團野副事務局長から本部方針が説明され、最後に丸山副会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、全体で心あわせを行いました。



大橋会長

大橋会長から「今次春季生活闘争においては、大手をはじめそれぞれの個別労使がマーケットをしっかりと分析し、企業や業界の将来をしっかりと展望することが重要である。そのためには、個別労使が本音の論議を通じて、厳しい経済状況の中で何ができるのかしっかりと点検を行い、労使で実行することが重要である。この1年間の組合員の頑張りを反映した要求策定は勿論のこと、組合員の求心力を高める取り組みをお願いしたい」とあいさつがありました。

Jユニオン(株)代表取締役社長西尾力氏から「経営チェック機能と労働組合の役割」と題した講演が行われ、「この数十年間の社会経済や企業環境は大きく様変わりし、労働組合が果たすべき役割も大きく変化している。現在、人間関係の希薄化によって職場内の環境が悪化しており、その結果自らが考えることが少なく、従業員や組合員の想像力の低下を招いている。そのためにも良好なコミュニケーションサイクルを回し、相互信頼の中で企業の健全な発展につなげていくことが重要である。また、組合員をプロフェッショナルな人材に育成することも労働組合の役割として大切なことであり、今後の雇用・賃金を守るためにも必要である。」と語られました。



西尾 力氏

連合本部團野副事務局長から「2010春季生活闘争においては、これまでの考え方ではなく新しい取り組みが必要であり、各産別にも協力をいただき取り組むこととした。新たな社会づくりに向けてターニングポイントだと認識している。」と説明があり、以下の本部方針が提示されました。



團野副事務局長

本部方針

- ① 全労働者を対象に春季生活闘争を推進
- ② 賃金水準維持の取り組みの徹底
- ③ 雇用の安定・創出に向けた取り組みの強化
- ④ 共闘連絡会議の体制強化
- ⑤ 政策・制度との連携強化



熱心に聞き入る
産別・地協参加者



みんなの気持ちを
ひとつに
団結ガンバロー!

